



子ども課はこんな仕事をします

■子ども支援係【職員3名・社会教育指導員2名(非常勤)】(新設)

- 児童福祉・母子福祉に関すること(住民福祉課児童係の所掌事務から移行)
児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等の手続き 他
- 保育園に関すること(住民福祉課児童係の所掌事務から移行)
入園手続き、保育料算定
- 「次世代育成支援行動計画」の推進
少子化対策、子育て支援、子ども支援センター(仮称)運営
- 教育相談・支援に関すること
「フレンドリー教室」開設・運営
- 児童クラブに関すること(教育課男女共同参画係所掌事務から移行)
- 青少年教育、子ども会育成会、人権教育、自律教育に関すること(教育課総務学校係所掌事務から移行)

■総務学校教育係【職員5名】(総務学校係から名称変更)

- 転校手続き、奨学金申請、小中学校の学習環境・施設の整備
教育委員会後援申請 他

◆子ども課は役場庁舎2階の中央に設置されています。お気軽にご利用ください。



ふじみ子育て
ネットワーク
代表
新里みなみ さん

子ども課新設について、「ふじみ子育てネットワーク」代表の新里さんにお話を伺いました。

富士見町においても、子どもが育つ社会的環境は大きく変化し、また子育て家庭のあり方も多様化してきています。これからの次世代育成支援は、子どもの心身ともに健全な育ちを継続的に保障すること、また各子育て家庭の現状に寄り添って、必要な支援を行なっていくことの両面から取り組んでいく必要があると思います。

「子ども課」の新設には大いに期待しています。子育てと子育ての両面に一貫した行政の働きが得られること、また、年齢で区切られることなく、継続した視点で子どもの成長を見守ってもらえる体

制は、保護者としても大変心強く感じます。

次世代育成支援行動計画の策定に伴い、「子ども行政の一元化」への試みは、全国各地で始まっていますが、従来の業務の一元化にとどまることなく、地域の実情に応じた具体的な子育て、子育て支援事業への展開と、継続が一つのポイントになるかと思っています。

新設される「子ども課」の機能が、より良く発揮されるためにも行政と町民でそれぞれの役割を確認し合いながら、協働してその働きを担っていくことが必要だと感じます。

「ふじみ子育てネットワーク」は、町中みんなが子育てを願って発足、今年1月から未就園児とその保護者が、誰でも気軽に遊びに来られる「子育てひろば」を、週1回 コミュニティ・プラザに開設しています。富士見町に生まれる子どもと、その家族を支える活動を、地域の方々のご協力を頂きながら続けていきたいと思っています。